（第３号様式）

会　議　要　旨

会議名	館山市図書館協議会
開催日	令和８年７月１７日（金）
開催場所	館山市図書館
出席者	委員：金房努、齋藤 実、秋山里和、生稲裕美、遠藤康貴、片岡洋子、関和美、波佐間美和子、 教育委員会：石井教育長、鈴木教育部長、織原生涯学習課長 庄司図書館長、里島管理係長、鈴木主査、相川主任司書、渡邉主事
公開・非公開の別	公開　一部非公開　非公開
非公開の場合の理由	
傍聴者	０名
会議概要・結果等	**【会議概要・結果等】** **１　開会** **職員紹介** **２　辞令交付** **３　教育長あいさつ** **４　議事** （１）館山市図書館の概要について （２）令和７年度館山市図書館事業報告について（資料のとおり） （３）令和８年度館山市図書館事業計画について（資料のとおり） 〔説明：図書館　庄司図書館長〕 （４）「第２期館山市図書館の基本的運営方針」について 〔説明：図書館　鈴木主査〕 （５）その他 〔質問・意見等〕 〇イベント参加人数の目標人数はあるか。 ⇒「第２期館山市図書館の基本的運営方針」の数値目標に定めたとおり、子ども向けイベントの参加者数は、令和 12 年度に 1,200 人を目指す。 〇「高齢者への読書支援」の具体的内容はなにか。 ⇒「大人向け紙芝居」の貸出や移動図書館の継続、および、高齢者福祉課や社会福祉協議会等関係団体との連携を深める。 〇「現行法規総覧」の更新購入を中止したとあるが、更新内容の周知方法はどうするのか。 ⇒相談を受けた際は、職員がインターネットで調べたうえで適切

	な法令資料を案内するなどのレファレンスサービスで対応している。 ○県内図書館への相互貸出で、館山市から提供している資料内容の検証はしているか。館山市から貸し出している本の特徴は、館山市図書館の強みになるのではないか。 ⇒各ジャンルの本を貸し出しているが、詳細な検証はしていない。今後の研究課題の参考とする。 ○学校再編に伴い統廃合される学校の図書はどのような取り扱いになるか。 ⇒図書館職員が学校の図書を確認し、図書館の蔵書に受け入れるべき本を選定する。また、リサイクルコーナーに活用できそうな本やそれ以外の廃棄すべき本の判断について学校の図書担当と連携する。 ○現在の図書館は配架が窮屈である。また、学校閉校後の跡地活用が未定である。図書館の分館のような施設の設置は検討しているか。また、移動図書館は継続できるか。 ⇒特に絵本コーナーは図書が多いが、詰めすぎると子どもが本を取りづらいため注意している。移動図書館については、小型化の提案も受けている。児童以外にも利用者がいるため、学校の閉校に伴いただちに巡回ルートを無くすことはしない方針でいる。施設の老朽化や利便性向上のために図書館の移転を検討している。 ○地震対策はどうなっているか。 ⇒本棚自体は倒れないように固定している。本の落下の危険性はあるため、地震発生時には職員が声かけを行う。 ○子ども向けイベントの広報時期について、適切なタイミングでの告知をお願いしたい。 ⇒広報紙や新聞だけでなく、ＳＮＳも活用しながら適切なタイミングでの発信を心がける。 **その他** 当施設の移転検討に伴い、「整備基本計画」の策定が必要である。その過程において市民から広く意見を伺うためにワークショップを開催する。 〔質問・意見等〕 ○図書館の本の修理のボランティアのメンバー募集を呼びかけてもらい感謝している。 **５　閉会**